

トルコ ザクロを世界に戦略的に輸出

[FreshPlaza 2024 年11月13日](#)

エーゲ海地方生鮮果実・野菜輸出業者協会の会長であるハイルディン・オジャック氏は、トルコの輸出動向を詳しく説明し、1月から10月までの期間におけるトルコ産ザクロの主要輸入国としてのイラクの役割の重要性を指摘した(訳注: この記事の出典はイラクのメディア)。同氏は、世界のザクロ市場におけるトルコの重要な地位 - 生産と輸出の両面で - を強調した。トルコは年間約70万トンを生産し、世界の5大生産国のひとつであると同氏は述べた。さらに、同国のザクロの輸出も注目に値し、年間15万~20万トンを輸出して、上位10カ国以内にランクされている。

上記の期間に、トルコは世界の61カ国にザクロを出荷した。ロシア連邦は2,100万ドル相当を購入する最大の輸入国であり、イラクが輸入総額2千万ドルの僅差で続いた。その他の主要な輸入国は、ドイツ、英国、ウクライナ等で、輸入額はそれぞれ1,450万ドル、750万ドル及び550万ドルであった。このような輸出先の多様化は、ヨーロッパ、中東、アジアなど、様々なグローバル市場での存在感を強化するトルコの戦略的アプローチを際立たせている。

出典: [IRAQI News](#)

(関連記事)トルコ ザクロのシーズンは低価格で困難に

[FreshPlaza 2024年11月8日](#)

ザクロはコスト上昇とインフレで利益が上げるのが難しい

トルコの青果物輸出業者アラナル社で販売コーディネーターを務めるイギット・ギョキギット氏は、十分な量と良好な品質にもかかわらずザクロ市場は難しい状況にあるとして、「トルコのザクロのシーズンは約2カ月前に始まった。ザクロの需要も好調である。しかし実際のところ、今年の市場は価格設定の面で非常に厳しい状況にある。国内のインフレ率は過去数十年に比べて高く、これがコストを劇的に押し上げた。一方、外貨からトルコリラへの為替レートの上昇率は、インフレ率よりも低い。したがって、我々の利益率は現在、非常に低い水準に低下している」と述べた。(以下「」は同氏の話)

同氏は、トルコ産ザクロの需要について不満はないが、価格の面での期待を叶えるのは難しいと説明する。「現在の需要は我々にとって満足のいくものである。ドイツ、英国、太平洋アジア地域、さらにはカナダなど、世界中のビジネスパートナーが弊社のザクロを手に入れたがっている。しかし、特に弊社の主要市場であるヨーロッパでは、ザクロのシーズンが販促活動から始まった。これによって、今シーズンは価格が低いという取引先の期待が固まった。すでに高インフレによるコスト増加を抑えるのに苦労しているため、取引先に対してすべて販促価格で対応することはますます困難である。」

全体として、今年の生産は堅調で満足のいくものであったが、これは天候に恵まれたためでもあると同氏は述べている。「今年のザクロの生産量は大変良い。市場には高品質のトルコ産ザクロが出ている。数量的には、ここ数年で最高のシーズンの1つであると言えるだろう。これは、今シーズンはザクロに悪影響を与えるような天候がなかったことも一因と言えるかもしれない。収穫前の天候が良かったため、ザクロの品質が良くなった。表面の傷の割合や色の状態は、通常の年よりも良い。」

トルコの輸出業者は全般的に好調なシーズンを過ごしているものの、コストとインフレの課題は顕著であると同氏は強調する。「トルコは世界で最も優れたザクロ生産国のひとつである。このため、多くのザクロ生産者と輸出業者がいるにもかかわらず、すべての企業が市場に参入する余地は常にある。前述のとおり、今年は量と質の面で良いシーズンとなっているが、トルコの輸出業者にとって、収益性が今年最も困難な課題である。ある程度の利益を得てシーズンを終えることを期待しているであろう輸出業者にとって、現在の価格はもはや対応不能だと思うので、輸出価格は今後数日のうちに上昇すると予想している。」(以下、同社の紹介を省略)

執筆者: ニック・ピーターズ (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)